

品番	HID光源	灯器グレード	保管用
YK40320	HID400形	普及型（耐塩害仕様）	
YK40370	HID1000形		
YK40380	HID1500形	一般型（重耐塩害仕様）	

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に施工を行なう。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ず、適合する灯具で使用する。落下の原因となります。

注意

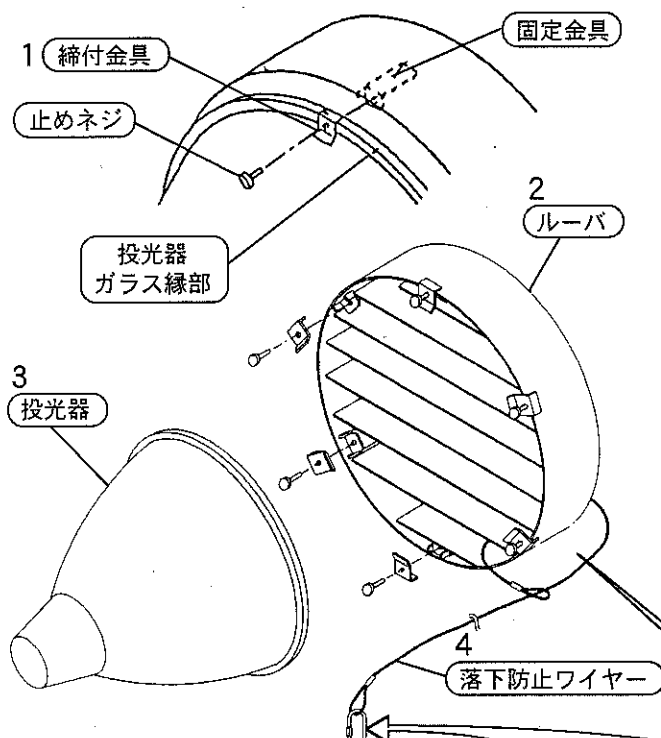
- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災の原因となります。

各部のなまえと取付け方

警告

施工は取扱説明書に従い、確実に施工を行なってください。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

* YK40380の図で説明しています。



1. 取付ける前に

※ルーバ取付時に投光器の照射角度を動かしても支障のない場合は、投光器を上向きにするとルーバがより簡単に取付けできます。

- ・締付金具の止めネジをもどして締付金具を緩める。
- ・隣合う3ヶ所の締付金具を外す。

* YK40320、YK40370の場合、2ヶ所

2. 遮光方向を決める

- ・遮光方向に合わせてルーバの取付方向を決める。
- ・水平方向の遮光の場合、ルーバを縦にする。
- ・垂直方向の遮光の場合、ルーバを水平にする。

3. 投光器に取付

- ・固定金具と締付金具で投光器の前面ガラス縁部を挟むようにセットする。
- ・締付金具がついている所から止めネジを軽く締める。
- ・6ヶ所の締付金具が均等にセットされたら、6ヶ所の止めネジを締付け、投光器に確実に固定する。

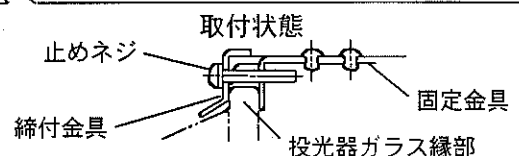
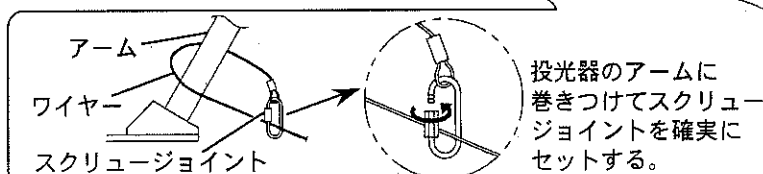
* YK40320、YK40370の場合、4ヶ所

締付けが不完全な場合、落下の原因となります。

4. 落下防止ワイヤーの取付

- ・落下防止ワイヤーを投光器のアームに巻きつけてスクリュージョイントを確実に締付ける。

締付けが不完全な場合、落下の原因となります。



工事店様へ

お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、落下・感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。

⚠注意

- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災の原因となります。
 - お手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
 - ルーバには寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などの至る場合があります。

お手入れ ⚠注意 (必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。)

- ・器具の清掃について・・・・・・
- ・汚れを落とす場合は、石けん水を浸した柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
- ・変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

お客様へ 保守のために、下表内容をご確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、出来るだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

<施工記録>

オプション品番	保守作業上の注記
取付年月日	